

平成 30 年度車いすバスケットボール審判研修会

【日 時】 平成 30 年 8 月 18 日 (土) 19 時～21 時

【会 場】 横浜ラポール

【対 象】 JBA 公認審判員及び希望者

【目 的】 「車いすバスケットボールの理解と審判員の育成」

【参加人数】 16 名

【研修内容】

1 開講式

県協会審判グループあいさつ

2 実技①

車いすの計測 (チェアチェック)

3PO の位置取り

- ・トス・アップからの位置取り
- ・リードの移動に伴うセンター、トレイルの位置取りの変化 (ローテーション)
- ・審判の合図
- ・TO レポート

3 座学

接触の原則

ボールの有無による判定の違い

4 実技②

県内各チームによるモデルゲームを利用し、3PO による判定

- ・1 対 1 の判定
- ・5 対 5 の判定

5 閉講式

※研修会の様子



【最後に】

今回で7回目の車いすバスケットボール審判研修会にあたり、神奈川県車いす審判員及び神奈川県審判員の方にご参加いただき、開催の運びとなりました。

今年は3PO メカニクスの動きに重点を置き、より良い判定につながる位置取りの追求を目指しました。また、車いす同士の「接触の原則」について講義を行い、現象の理解の促進を図りました。

東京パラリンピックに向け、車いすバスケットボールを取り巻く環境が大きく変化し、日本で開催される国際ゲームなどは着実に増えており、注目度が高まるにつれて競技レベルの向上に結びついています。

競技を支える上で審判員の技術向上及び育成が求められます。今後もぜひ多くの方々のご支援とご理解をいただければ幸いです。

今回ご協力いただいた関東車いすバスケットボール連盟及び神奈川県バスケットボール協会、並びに県内車いすバスケットボールの各チーム、さらに今回の会場をご提供していただき、全面的に後押しをいただいた横浜ラポールのスタッフの皆様に感謝申し上げます。

引き続き普及活動に尽力してまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。

(文責：県協会審判グループ 車いす担当 桜川 純平)